

2025 年度

C 級審判審査 筆記試験問題

A

九州ハンドボール協会審判委員会

1. 競技規則でコートの広さはどのように規定されているか。
 - (a) 40×20 m
 - (b) 42×20 m
 - (c) 38×18 m
 - (d) 長さ 38 ～ 42 m、幅 18 ～ 22 m

2. 得点を認めた後、レフェリーがその得点を取り消すことができるのは、どの時点までか。
 - (a) スローオフの笛まで
 - (b) 競技の終了合図まで
 - (c) タイムキーパーが競技を中断した後の得点は、たとえ次のスローオフの笛を吹いていたとしても取り消さなければならない
 - (d) 得点の取り消しは不可能

3. 白チームが打ったシュートを、黒チームのゴールキーパー 1 番が止めた。止めたボールがゴールエリア内をバウンドしている最中に、白チームのチーム役員 A がチームタイムアウトを請求するため、タイムキーパーの目の前（机の上）にグリーンカードを置いた。ボールがまだゴールエリア内をバウンドしているときに、タイムキーパーはチームタイムアウトの笛を吹いた。このときボールは、ゴールエリアのすぐ外側で一人待ち構えている白チームの 13 番の近くまできていた。レフェリーの正しい判定はどれか。
 - (a) 白チームのチームタイムアウト
 - (b) チームタイムアウトは認められないため、白チームのチーム役員 A にグリーンカードを返す
 - (c) 白チームのフリースロー
 - (d) 黒チームのゴールキーパー スロー
 - (e) 黒チームのフリースロー
 - (f) 白チームの 7 m スロー

4. レフェリーが予備のボールを使用すると判断した場合、いつ元のボールに戻すべきか。
 - (a) 次の競技中断時
 - (b) 予備のボールが使用不能にならなければ、元のボールを再び使用することはできない
 - (c) レフェリーが必要と考えたとき
 - (d) どちらかのチームから要求されたとき

5. 白チーム 11 番は競技の開始直前に重傷を負ったため、プレーできなくなった。
 - (a) 白チームの 11 番は交代できない
 - (b) 相手チームが了承すれば、白チームの 11 番は交代できる
 - (c) 通常、白チームの 11 番は、記録用紙に記載した名前を変更し交代できる。また、代わりに参加するプレーヤーは 11 番をつけてもよいが、レフェリーは、各大会における特別な規定を守らなければならない場合もある
 - (d) 白チームの 11 番は交代できるが、代わりに参加するプレーヤーは 11 番をつけることはできない

6. 競技の開始時、白チームは 6 名のプレーヤーしかいなかったが、競技開始直後に、白チームのプレーヤー 7 番が遅れて会場に到着した。白チームの 7 番はそのまま自陣の交代地域を通してコート内に入った。白チームの 7 番は、記録用紙に記載されていなかった。

- (a) (レフェリーはレッドカードを示し) 白チームの 7 番を失格とする
- (b) 白チームの 7 番を 2 分間退場とし、記録用紙に追加で記載しなければならない
- (c) 主催者が定める規定に一致するなら、白チームの 7 番を記録用紙に追加で記載しなければならない
- (d) 白チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する

7. チーム責任者に段階的罰則を適用するのは、どのような場合か。

- (a) 自チームのプレーヤーが、タイムキーパー・スコアキーパーに告げることなく交代地域を去ったとき
- (b) 記録用紙に記載されていない者が、競技の開始時に交代地域にいたとき
- (c) プレーヤーが余計にコートに入ったとき
- (d) 参加資格のないプレーヤーがコートに入ったとき
- (e) 競技開始後に、コート上のプレーヤーが許されない装具を身に着けていることを確認したとき
- (f) 交代地域で違反があったものの、違反をした者が特定できないとき
- (g) 競技開始後に、交代地域内のプレーヤーが許されない装具を身に着けていることを確認したとき

8. 黒チームの 18 番が打ったシュートは、白チームの 7 番によってブロックされた。それによりボールは方向を変えて、明らかにゴールエリア内のアウターゴールラインを通してコートの外に出ようとしていた。白チームのゴールキーパー 1 番はボールの後を追いかけていき、アウターゴールラインからボールを蹴り出した。

- (a) 白チームのゴールキーパースロー
- (b) 黒チームのスローイン
- (c) 黒チームのフリースロー
- (d) 白チームのゴールキーパー 1 番に、段階的罰則を適用

9. 白チームの 11 番は、自陣のゴールエリアの方向にボールを戻した。白チームのゴールキーパー 1 番は、ゴールエリア上でジャンプして空中でボールをキャッチした。ボールを持ったまま着地したが、片足はゴールエリアの中、他方の足はプレーイングエリア上であった。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) 白チームのゴールキーパースロー
- (c) 相手チームのフリースロー
- (d) 相手チームの 7 m スロー

10. 白チームの 4 番が立った状態でボールをキャッチした。その状態からジャンプして右足で着地し、次に左足でジャンプしてボールを投げた。何歩動いたことになるか。

- (a) 1
- (b) 2
- (c) 3
- (d) 4

11. 白チームの速攻中、黒チーム 7 番は余計なプレーヤーとしてコートに入り、白チーム 5 番を捕まえて明らかな得点チャンスを妨害した。
- (a) 黒チーム 7 番を 2 分間退場
 - (b) 黒チーム 7 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカード）
 - (c) 黒チーム 7 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）
 - (d) フリースロー
 - (e) 7 m スロー
12. 競技開始直後、黒チーム 9 番はプッシングにより警告となった。そのすぐ後、黒チーム 7 番は、白チームのピボットプレーヤーを捕まえた。ただし白チームのピボットプレーヤーは、明らかな得点チャンスを得ているわけではなかった。
- (a) 白チームのフリースロー
 - (b) 白チームの 7 m スロー
 - (c) 黒チームの 7 番を、警告
 - (d) 黒チームの 7 番を、2 分間退場
13. 警告としなければならない場合はどれか。
- (a) 主に、または完全に相手の身体を狙った違反行為
 - (b) 相手の各種スローに対する違反
 - (c) ボールの所持が相手チームに移る判定があった際に、ボールを床に置かなかったとき
 - (d) 相手が 7 m スローの準備を終えたときに、ゴールキーパーが交代しようとしたとき
14. 競技の終了直前、白チームが 22 対 21 でリードしているとき、競技規則に違反することなく、白チームの 5 番はスローオフを行い、ボールは白チームのゴールの方向に向かっている。白チームのゴールキーパーはゴールエリア内にいたがボールには触れず、ボールはそのままゴールに入った。白チーム 5 番のチームメイトは、スローオフの笛の合図後、ボールが出される前にセンターラインを越えて黒チームのゴールに向かって走った。レフェリーの正しい判定はどれか。
- (a) 黒チームの得点
 - (b) 黒チームのフリースロー
 - (c) 笛の合図の後に、スローオフを再度実施
 - (d) 白チームの 5 番に、段階的罰則を適用
 - (e) タイムアウト
15. （スローオフエリアを採用するコート）スローオフエリアに関する正しい記述はどれか。
- (a) スローオフは、レフェリーの笛の合図から 3 秒以内に、実施されなければならない
 - (b) スローオフから直接シュートを狙い、得点を決めることができる
 - (c) 防御側チームの不正な位置は、必ず正さなければならない
 - (d) スローオフを実施する笛の合図の後に、スローを実施するプレーヤーがジャンプをしたならば、相手チームにフリースローを与える
 - (e) スローオフを行うプレーヤーの味方のプレーヤーは、いかなる場合も、スローオフを実施する笛の合図の前に、センターラインを越えることは許されない

16. 白チームの3番は、サイドラインの2m外側からスローインを行なった。

- (a) この行為は許されるため、そのまま競技を続行
- (b) 相手チームのフリースロー
- (c) 笛の合図なしに、スローインを再度実施
- (d) 笛の合図の後に、スローインを再度実施

17. 白チームのゴールキーパー1番は、ゴールキーパーズローを実施しようとしてボールを落としてしまった。ボールは、プレーイングエリアで待ち構えている黒チームの6番に向かって弾んでいった。そのため白チームの2番は、ゴールエリアに向かって飛び込み空中でボールを押し出して、サイドラインからボールを出した。

- (a) 笛の合図の後に、白チームのゴールキーパーズローを実施
- (b) 黒チームのスローイン
- (c) 黒チームのフリースロー
- (d) 黒チームの7mスロー

18. 黒チームの7番はボールを所持し速攻をしようとしたが、白チームの17番に捕まえられた。アドバンテージを見ていたレフェリーがまさに笛を吹こうとしたとき、黒チームの8番がボールを受け取って、白チームのゴールにシュートを打った。白チームのゴールキーパー12番はシュートを止めて、速攻を開始しようとした。すでに両チームとも、3回ずつの警告が適用されていた。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) 白チームの17番を、2分間の退場
- (c) 白チームのゴールキーパーズロー
- (d) タイムアウト
- (e) 黒チームのフリースロー

19. 白チーム3番の7mスローで、レフェリーの笛の合図の後、白チーム3番がボールを手から離す前に、白チーム5番はフリースローラインを踏み越えた。

- (a) 7mスローを再度実施
- (b) 相手チームのフリースロー
- (c) 相手チームのゴールキーパーズロー
- (d) 白チームの5番に、段階的罰則を適用

20. 白チームのフリースローとなった。白チーム5番は、レフェリーの笛の合図なしに全力で走りながら素早くフリースローを行い、白チーム4番にパスをした。しかしボールは、黒チーム3番によってインターセプトされ、黒チーム3番は、白チームのゴール前でノーマークの状態となった。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) 笛の合図の後に、フリースローを再度実施
- (c) 黒チームの3番に段階的罰則を適用し、フリースローを再度実施

21. プレーヤーの退場時間は、いつ計測し始めるか。
- (a) レフェリーが、退場のジェスチャーをしたとき
 - (b) 退場となったプレーヤーが、サイドラインを越えたとき
 - (c) レフェリーが、競技再開の笛を吹いたとき
 - (d) タイムキーパーが、ストップウォッチを始動させたとき
22. 競技は中断され、黒チームの 8 番は 1 回目の 2 分間退場となった。競技再開前、黒チームの 8 番はコートから去る際、レフェリーにスポーツマンシップに反する態度で話しかけた。
- (a) 黒チームの 8 番に、2 分間退場を追加する。黒チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 2 名減らす
 - (b) 黒チームの 8 番に、2 分間退場を追加する。黒チームはコート上のプレーヤーを、4 分間 1 名減らす
 - (c) 黒チームの 8 番を、失格とする（レッドカードを示す）。黒チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 2 名減らす
 - (d) 黒チームの 8 番を、失格とする（レッドカードを示す）。黒チームはコート上のプレーヤーを、4 分間 1 名減らす
23. 両チームのプレーヤーが衝突し、両レフェリーが笛を吹いた。コートレフェリーは攻撃側の違反（オフエンスィブファール）を判定したが、ゴールレフェリーは防御側の違反を判定した。このようなとき、どのように判定すればよいか。
- (a) ゴールレフェリーの判定を採用する
 - (b) コートレフェリーの判定を採用する
 - (c) 両レフェリーが協議した末に、合意した判定を採用する
 - (d) 必ずタイムアウトを取る
 - (e) 合意した判定が攻撃側の違反であった場合のみ、タイムアウトが必要となる
 - (f) 両レフェリーが通信機器により会話ができる場合、必ずしもタイムアウトを取る必要はない
24. タイムキーパーやスコアキーパーは、レフェリーが交代地域規定に反する行為に気づかなかった場合、いつレフェリーに伝えるべきか。
- (a) 直ちに違反を知らせる
 - (b) 次に競技が中断したときに、違反を知らせる
25. センターラインから、チームベンチの始端までの距離はどれだけか。
- (a) 1 m
 - (b) 2 m
 - (c) 3 m
 - (d) 3.5 m